

平成28年度 学校だより

はき・にこ・わく

本校が願う児童の姿「はきはき」「にこにこ」「わくわく」より

平成28年10月13日(木)

No. 6

飯山市立木島小学校

(文責：教頭 橋澤宏文)

千曲川に川霧が立つようになり、校門前の桜の葉が色づき始めました。秋が深まってきています。木島小学校の9月からの様子をお伝えします。

9月24日(土) 130周年記念 第101回 運動会



パネル人文字「130」



「木」



「島」



「っ子」

台風の影響が前日まで心配された中、当日は運動会日和に恵まれて、130周年記念第101回運動会が開催されました。

130周年記念を祝うために、PTAの皆さんにもお手伝いいただき、入場行進前に「パネル人文字『130木島っ子』」を作りました。上写真はフジマキフォトクリエイティブ様によるドローンを使った空撮写真です。そして、この後の入場行進の鼓笛では、木島地区の皆様からのご寄付で購入したマーチングキーボードを使わせていただきました。

また4～6年生の組体操は100周年記念で作られた「木島ふるさとかるた」(俳句：木島俳句同好会・絵：田中渉様)の札を各場面のテーマにして構成され、子どもたちは見事な演技を披露してくれました。右写真は「種蒔くや 高社に残る



兎雪」の札から、「高社山」を作った子どもたちです。

ちょうど子どもたちの後ろに高社山が見えていました。

さらに昨年に引き続き、松澤英市様・浦野友子様・木島童謡唱歌をうたう会・下木島鬼祭連の皆様のご協力で、生演奏・生歌による「木島民謡」を地域の方とともに踊ることができました。「木島民謡を大切にしてくれてありがたい」「生演奏による踊りを続けてほしい」という感想をいただくことができました。



130周年記念事業 中庭が整備される

中庭の噴水池が、伊東建設様のご尽力によって運動会に合わせて整備され公開することができました。朽ち始めていた桐の木を切り、石畳を敷き、噴水を直していただいて、子どもたちが周囲を歩けるようになりました。大石には苔がむして、日本庭園のようです。皆様も学校においでの際は、ぜひご覧いただきたいと思います。(裏面に続く)



9月27日(火)稲刈り、10月11日(火)脱穀終わる



農業委員様、FSK様、JAや市教育委員会、PTAの皆様のご協力によって、稲刈りと脱穀を終わらせることができました。子どもたちは稲刈りも脱穀も機械だけでなく、のこぎり鎌や千歯抜き・唐箕などを使っての手作業を体験することができました。



5年生は、昨年に引き続き市農林課のご支援をいただいて、11月5日(土)に、横須賀市にあるJAよこすか葉山の農産物直売所「すかなごっそ」で米の試食販売ができることになりました。昨年のこの機会に米を購入されて、その後、木島小学校を訪問までしてくださった横須賀市のご夫婦が、「今年も行きます」と言ってくださっています。また新たに5年生との交流が始まることを期待しています。

市農林課では昨年度のこの活動をもとに「お米を作った子ども達と都会の消費者がつながる～涙あふれる感動のお米物語」というパンフレットを作成しているそうです。

10月4日(火)PTA講演会「伝えよう！ふるさと木島の昔語り」

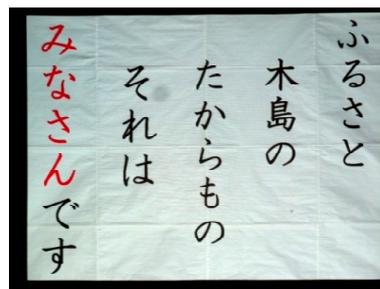


10月4日の授業参観日に合わせて、全校児童・保護者・地域の方を対象にPTA講演会が開かれました。主催するPTA父親母親委員会の皆様が「130周年でもあるし、よそから嫁いできたお母さんがほとんど知らない木島の昔のことを知りたい」



「宮澤栄一校長先生・浦野仁里先生のお話をお聞きしたい」と願って実現されました。

宮澤校長先生からは「算額」や「木島隕石」、昭和57年・58年の木島・常盤の洪水のお話を、浦野仁里先生からは木島のすべての地区ごとにまつわる宝物や昔話を「木島かるた」にちなんで紹介いただきました。子どもたちからは「校長先生の洪水の話で『牛も苦しきただろう』というところで、僕はそのとおりに思った。牛も生きているから水が来ていることもわかってたから、ということもあったので、悲しかった」という感想がありました。お家の方から「木島のことを知るととても良い機会となりました。子どもたちに、自分たちの住むふるさと木島への興味と誇りが生まれたように思いました」という感想をいただきました。



全国学力・学習状況調査より

4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の6年生は、基本的な力を見る国語A・算数A、応用的な力を見る算数Bでは全国平均を上回った良い結果となりました。日頃より真面目に学習に取り組むことができる子どもたちの成果が現れた結果でした。一方、国語Bでは全国平均をわずかに下回りました。解答の様子をみると「文章やグラフなどから分かることを読み取り、自分の考えを書く力」を更に伸ばしていく必要があることが分かりました。



担任以外の職員も加わって個別支援

本校では飯山市が今年度から2～6年生に導入した総合学力調査の結果も参照し、その子の不得意な内容が練習問題として作られる個別プリント作成のシステムを使って、ドリルタイムに担任以外の職員も支援に入って学力の定着を図ろうとしています。このような取組の積み重ねを大切にしていきたいと考えます。